

平成 22 年 10 月 29 日

各 位

上場会社名 加 賀 電 子 株 式 会 社  
 コード番号 8 1 5 4 東 証 第 一 部  
 本社所在地 東京都千代田区外神田三丁目12番8号  
 代 表 者 の 代表取締役社長 塚 本 外 茂 久  
 役 職 氏 名  
 問 合 せ 先 専務取締役 下 山 和 一 郎  
 管理本部長  
 T E L 0 3 - 4 4 5 5 - 3 1 1 1

## 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結業績予想との差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期第 2 四半期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）の連結業績予想につきまして、平成 22 年 7 月 30 日に公表をしておりますが、実績との差異について、下記のとおり説明いたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 7 月 30 日に公表いたしました、平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 業績予想との差異について

（1）平成 23 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想数値との差異（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	116,000	1,100	1,400	600	21.74
当 期 実 績 ( B )	120,470	2,594	2,644	1,412	51.18
増 減 額 ( B ) - ( A )	4,470	1,494	1,244	812	-
増 減 率 ( % )	3.9	135.8	88.9	135.3	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成22年 3 月期第 2 四半期)	113,926	367	201	931	33.77

### （2）差異の理由

当第 2 四半期連結会計期間におけるわが国経済は、期初におきましては輸出や景気刺激策に支えられ、回復の兆しが見えはじめましたが、後半期に入りますと急激な円高・株安・改善されない雇用問題などから不透明というより後退気味で推移いたしました。

このような状況下でありましたが、当社グループは、市場動向を把握し顧客への拡販、新規開拓などに機敏に対応し営業努力をしてまいりましたところ、デジタルテレビおよび車載機器向け半導体や L E D 照明機器向け L E D 素子の受注、海外における E M S ビジネスの受注などが当初の予想を上回り、また電子部品事業の仕入れコスト削減努力などの結果、売上総利益率も改善されました。

その結果、第 2 四半期連結累計期間の業績予想につきまして、上記のとおり差異が生じました。

## 2、通期業績予想の修正について

( 1 ) 平成 23 年 3 月期通期の連結業績予想数値の修正 ( 平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日 )

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	225,000	1,700	2,100	1,300	47.10
今 回 発 表 予 想 ( B )	230,000	2,900	3,000	1,800	65.22
増 減 額 ( B ) - ( A )	5,000	1,200	900	500	-
増 減 率 ( % )	2.2	70.6	42.9	38.5	-
(ご参考)前期実績 (平成22年 3 月期)	239,391	1,582	1,280	318	11.55

### ( 2 ) 業績予想修正の理由

今後の経営環境につきましては、輸出の減速傾向に加えて、エコカー購入補助金制度終了、海外景気減速、円高進行による企業収益への悪化の影響などにより予断を許さない状況が続くものと思われまます。

先行き不透明な環境の中で、当社グループは、国内・外の関係会社間とのより一層の連携によるシナジー効果の発揮に努め、新規商材や商権獲得により取扱高の拡大をはかりながら、効率化経営を推進することにより、上記の通り修正いたします。

( 注 ) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上